


色彩・感性・装い ~ 眼で見て、心で感じる科学

関西大学総合情報学部 浅野晃ゼミ

教授 浅野晃 2024年度ゼミ生 4年生14名, 3年生12名



 ポスターの写真は
ご自由にお撮りください

学生の興味関心を、教員との対話で「育てて」、卒業研究のテーマとしています。

■ 「文理融合的」研究

「文系的」な興味を持っているゼミ生も多いです

■ 日本と中国で、「赤／紅」、「青／藍」という漢字に対して思い浮かべる色に違いがあるか



両国の協力者に、

[1] 5つの色相から「赤」で思い浮かべる色をひとつを選んでもらう



[2] 選ばれた色相について、彩度・明度を変えたものを呈示して、「赤」で思い浮かべるものを選んでもらう

「紅」についても同じ調査を行う
「青／藍」の組についても、ブルーの色見本で同じ調査を行う

日本では「赤／青」は「紅／藍」よりも彩度が高い

中国では「紅／藍」は「赤／青」よりも彩度が高い

両国とも、色を表すのに日常用いる字のほうが、彩度の高い色が思い浮かぶ

■ 「装い」や美術に関する研究

過去には繊維製品に関する卒業研究があり、最近では装い・美術に関する卒業研究が出てきました

■ 口紅の色の選択と心理状況の関連性

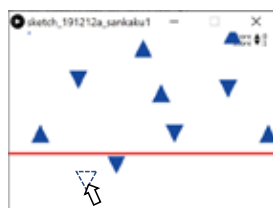


公的／私的状況、気分のポジティブ／ネガティブで、口紅の色／ツヤの嗜好がどう変わるかを調査した

公的な状況では気分による差が小さいが
私的な状況では気分による差がはっきりする傾向があった

■ 動的な図形

「動くもの」「変化するもの」に興味があります



▼と▲が上から落ちてくるのを、マウスマウスカーソルで捕まえるゲームを行う

三角形の向き(▼や▲)と、動作の向き(落ちてくるか上がっていくか)で、捕まえやすさに違いがあるか？

向きが一致しているとき
(▼が落ちてくる・▲が上がっていく)
捕まえやすい

■ 「ゼミ」とは？

大学生活の後半(3,4年次)では、ひとりの教員の研究グループ(ゼミ)に所属して2年間専門的な指導を受け、卒業研究を行います。(関西大学総合情報学部では、必修科目です)



2年次の10月
各ゼミの説明会(オフィスアワー)が開かれ、どの教員のゼミに入るかを選択します。(写真は「合同オフィスアワー」のようす)



3年次(「専門演習」)
各教員のゼミで、卒業研究に向けた専門的な勉強を行います。浅野ゼミでは、色彩に関する英語のテキストを、ゼミ生で分担して読み進めます。



4年次(「卒業研究」)
各学生がそれぞれのテーマを設定し、調査や実験を行って新たな知見を得る「研究」を行います。最後に、卒業研究の成果を発表します。



このQRコードで、浅野ゼミのウェブサイトへアクセスできます。
これまでのすべての卒業研究について、簡単な要約がついています。

このQRコードで、浅野のウェブサイト・Facebook/twitter
アカウントなどにアクセスできます。

E-mail: a.asano@kansai-u.ac.jp

